



キイロちゃんの
さがしもの

クドウとモコ

ほしが きれいなよるに ねがいごとを となえると
つきの かがやくよるに そのねがいが かなうんだよ。



もうすぐ ほしが きれいなよるが やってきます。
ノニくんは ねがいごとを あれこれ かんがえました。

おおきな モモのいえで そらを とびたいなあ。



おおきな パンケーキを もりのみんなと たべたいなあ。



かみなりこうえんのプールで あそびたいなあ。



「キイロちゃんの ねがいごとは なに？」
キイロちゃんの ねがいごと...
キイロちゃんの ねがいは
いつも いっしょの だいすきな ノニくんが よろこんでいること。



ノニくんによろこんで もらえることは なんだろう？

そういえば...

ノニくんの シャツのほしには いろが ありません。



じぶんは こんなに きいろいのに！
ノニくんの ほしは きいろくないなんて！

そうだ！

ぼくが ほしに なってみようと
おなかに はりつく キイロちゃん。



“あし”が ひとつ たりません...

ということで ここは ひとつ
きいろい ほしを さがしに ゆくことに。



「あ」

あ、これは？
おさらのうえの たまごやき。



いろは きいろくて ちょうどいいけど
やわらかすぎて うまく もてない。

あ、これは？
となりの おうちの やつでの はっぱ。



かたちは まあまあだけど きいろじゃなくて みどりいろ。
ほしは 5つで やつでは 8つ。
うーん
ちょっと おおいかな。

これなんか どうだろう？



オッキナこうえんの すいぞくかんの ひとで。
あしのかずも かたちも ちょうどいいけど...
きいろじゃない！ おしい！

なかなか ないもんだなあ。



キイロちゃんは よぞらを みあげると
ちいさな ほしたちが チリルチリリと またたいています。

「そうだった！」

ちかづく と ほしは とおくで みるより おおきくて...
「もってかえるには ちょっとおおきいなあ」



キイロちゃんが こまっていると まんまるおつきさまが いいました。
「きょうは わたしが いちばん かがやくよるだよ。
キイロちゃんのおねがいは かないそうかい？」

キイロちゃんは これまでのことを おつきさまに はなしました。

「ということは キイロちゃんが
ずっと ひとりで さがしものを しているあいだ
ノニくんも ずっと ひとりで キイロちゃんを まっているんだね」



わすれていたことを おもいだしました。

おしまい。